

2026 年 第 18 回 日本水頭症脳脊髄液学会開催のご案内

日本小児神経外科学会 会員の先生方へ

時下、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年 11 月に第 18 回 日本水頭症脳脊髄液学会を開催させていただきますので、ご案内致します。

日本水頭症脳脊髄液学会は、2010 年に「水頭症および脳脊髄液障害の病態、診断、関連疾患との鑑別およびより有効な安全な治療法を研究し、それを実践することにより、水頭症および脳脊髄液障害患者に可能な限り最良の治療を行い、患者の生活の質的向上を図るとともに、医療・福祉の面で社会に貢献すること」を目的として発足しました。

水頭症の研究をされている基礎研究者や正常圧水頭症（Hakim 病）の治療をされている脳神経外科医だけでなく、先天性水頭症に関わっている小児脳神経外科医も参加しています。日本小児神経外科学会理事の朴永銖先生が 2026 年から本会の理事長に就任されましたので、今後は小児水頭症についても研究活動が活発化していくと考えています。

上記のような背景から、第 18 回のテーマは「Rethinking Hydrocephalus - From Cradle to Later life -」とし、小児から成人まで、基礎から臨床・手術まで、幅広い分野の演題を募集致します。

特別講演は二つ予定しております。

1. 「髄液と水頭症の歴史」

山内康雄先生（もりぐち清水会病院 名誉院長）

2. 「髄膜の詳細解剖とその機能－特に硬膜下血腫/液貯留の発生と消退機序について－」

宇都宮英綱先生（社会医療法人財団白十字会 白十字病院 放射線科・高度画像センター 顧問）

山内先生は同タイトルの御本を執筆され、私も拝読させていただき大変感銘を受けました。宇都宮先生は水頭症分野だけでなく、乳児硬膜下血腫の分野でもトピックとなっている髄膜についての御講演です。

有意義な学会となるよう鋭意準備いたしますので、多くの演題発表ならびに多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

何卒ご協力ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【開催概要】

第 18 回日本水頭症脳脊髄液学会

開催日時：2026 年 11 月 28 日(土) 10 時～17 時（予定）

会 場：愛仁会看護助産専門学校（開催は会場のみ）

参加費：5,000 円

【演題募集】

演題登録締切り：2026 年 10 月中旬

演題登録および参加登録は下記よりお願いいたします。

<https://www.narunia.co.jp/jshcsf2026/>

第 18 回日本水頭症脳脊髄液学会

会長 原田敦子

高槻病院 小児脳神経外科